

解説!!

個人や地域で、
マップを活用して
災害に備えましょう。

ハザードマップの 使い方

◆ハザードマップとは？

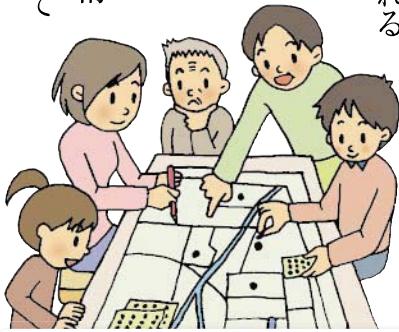
自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの

です。予測される

災害の発生

地点、被害の拡大範囲

及び被害程度、さらに避難場所等の情報が図示されています。



ハザードマップの活用法

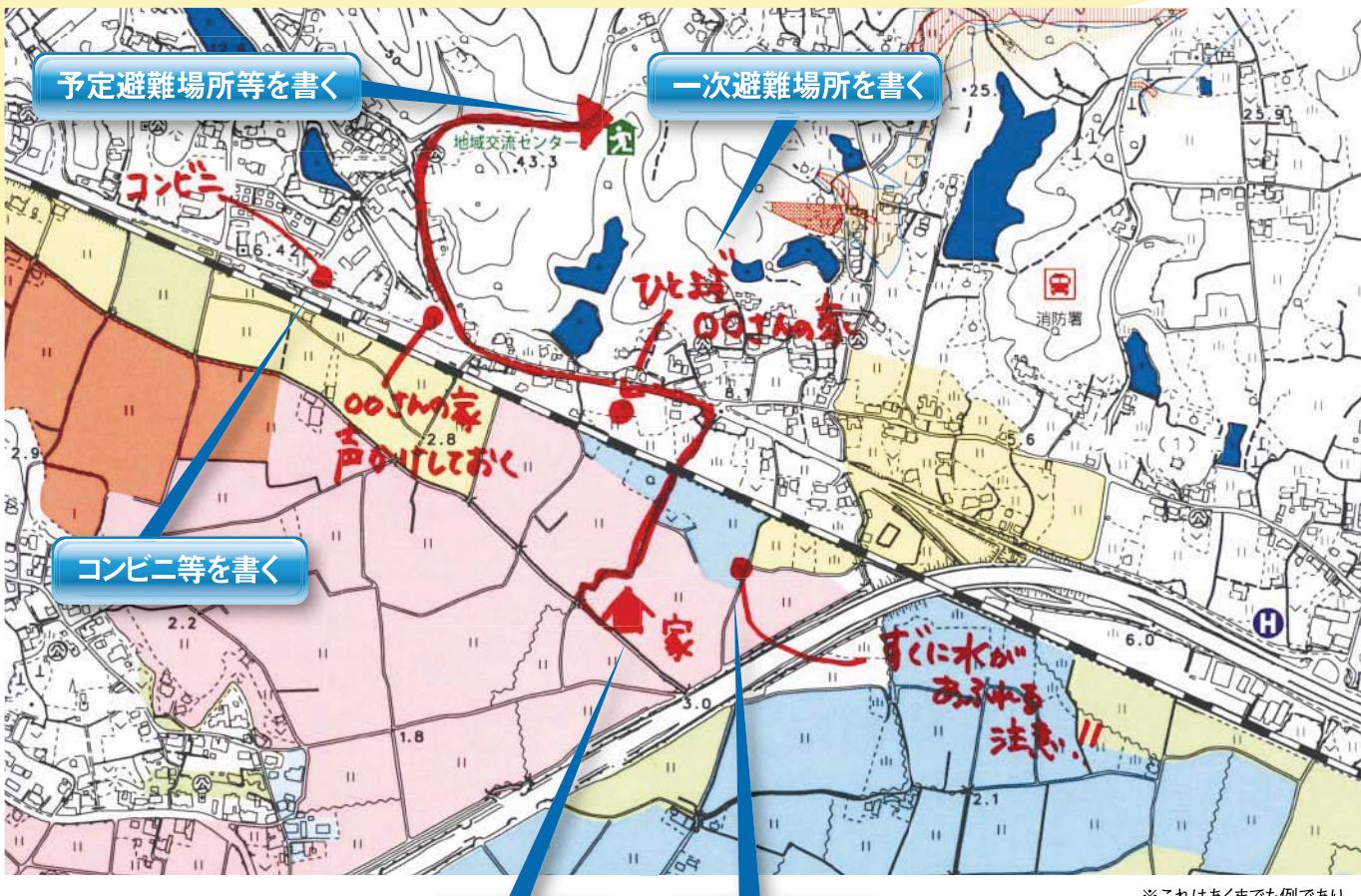
▼地域(自主防災組織等)ではこう使おう!

ハザードマップをもとに、より詳しい地域のマップを作りましょう。地域で話し合いながら、過去の災害発生場所や避難に支援が必要な人、避難経路の確認等を行いましょう。

▼個人ではこう使おう!

まずは自宅や学校、勤め先を地図に書き入れて、災害時に避難が必要な場所かどうかを確かめましょう。また、最寄りの避難場所と安全な避難経路を確認して書き入れましょう。

●書き込んでみましょう!(個人使用例)



※これはあくまでも例であり、
実際のものとは異なります。